



### 歴史資料館の展示替え

富田城跡整備事業に伴い昨年10月から休館していた歴史資料館（広瀬町町帳）が、3月21日から開館しています。今回の工事では事務室と玄関部分を改修しました。今後は、平成31年度にかけて城跡のガイダンス機能となる部屋の改修工事などを予定しています。

一方、2階の展示室では一部、展示品をリニューアル。整備事業に伴い実施された発掘調査で出土した装飾瓦や陶磁器など約20点を新たに展示しています。



▶出土した鯰瓦（しやちがわら）の一部分。これにより櫓があったことが推定されます。



▶同センター職員の方々と、「傍観者」参加者へ、参加者を参画者へ」という取り組みが評価されました。

### 広瀬交流センターが受賞

平成29年度県優良公民館表彰を広瀬交流センターが受賞しました。工夫ある取り組みで地域住民の活動に大きく貢献している公民館を表彰するもので、今年度は県内2館が選定されました。

平原金造館長は「住民の皆さんの様々な活動のお手伝いを心がけています。今回の受賞は、見守り隊や学校サポーター、地域ビジョンづくりへの参画など、地域の皆さんの活動が評価されたのではないのでしょうか」と話しています。

▶トップページでは市の情報を「くらし」「こと」と「市政」に分類しています。



### 新しいホームページを提供

市は3月1日から公式ホームページをリニューアルし、公開しています。「結婚」「子育て」といった暮らしの場面から必要な情報を得ることができるよう、ニューアイコンを設けるなど、市民の皆さんが必要な情報をすぐに探し出すことができるよう整理しています。

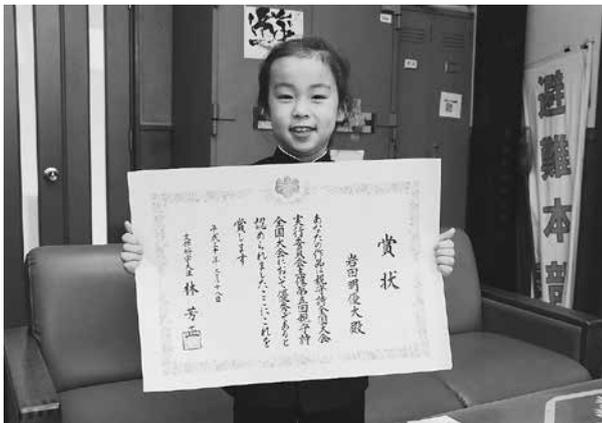
また、障がいのある人や高齢者などを含む誰もが利用できるサイトを目指し、総務省ガイドラインの基準をクリアした編集となっています。

### 広小・岩田くん大臣賞

子から親へ感謝の気持ちを詩で表した親守詩の全国大会があり、広瀬小1年岩田明優くんが作品が、文部科学大臣賞に輝きました。

応募総数8万2033点の中から選ばれた岩田くんの作品は、泣いているとき、おなかがいいたいとき、いつも元気をくれるお母さんの手を魔法の手として詩に詠みました。

受賞を受けた岩田くんは「うれしい。いつもやさしいお母さんを思い出して書いた」と喜びを語っていました。



▶受賞した岩田明優くん。